

事業評価書

補助事業名	多目的アリーナ施設等整備工事(実施設計)					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市山内・諸見里地内					
補助事業の成果の目標	<p>本市は、基地内外に約40カ国の外国人が居住している等、多様な文化が混在する国際色豊かな特色を有しており、昭和49年に「国際文化観光都市」、平成8年に「スポーツコンベンションシティ」を宣言し、国際文化・観光、スポーツ交流を推進してきた。今後に向けて交流及び地域振興の拠点となり、他地域との差別化が図れるような新たな地域の活性化に向けた施設整備が必要であり、多くの市民や在住外国人(米軍人等)、観光客との交流や親睦を深め、地域活性化に貢献できる本施設を整備することによって、防衛施設とその周辺地域との調和を図り、生活環境の改善等に寄与するものである。</p> <p>このため、本市において新たに多目的アリーナ施設等を整備し、①天候に左右されずスポーツ活動などの支援を行い、こどもから高齢者まで幅広い市民の支援活動を図れる施設として、また、市民だけでなく在住外国人(米軍人等)や観光客との交流を図り、様々なイベントを開催することで、地域活性化を図る地域振興施設として位置付ける必要がある。あわせて、②コザ運動公園は広域避難場所にも指定されているが、屋内の災害活動拠点としての役割を担う施設が少なく、支援物資の保管・分別・供給ができる施設も不足していることから、災害時活動拠点施設としても位置付け、同市の生活環境の改善を図るものである。</p> <p>そのため、今回の実施設計書を作成することで、多目的アリーナ施設等を整備することができる。</p>					
補助事業の内容	実施設計 一式					
補助事業の始期及び終期	平成28年度(繰越)					
事業費及び交付金額		28年度 (繰越)				計
	事業費	201,891,528 円	円	円	円	201,891,528 円
	交付金額	168,480,000				168,480,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより沖縄アリーナ(平成30年12月議会にて名称が沖縄アリーナとなった)の建設工事に向けた設計書を作成することが出来た。 本設計書を基に、2018年(平成30年)8月には、本体工事に着手したことを確認できたことから、本実施設計が沖縄アリーナの建設工事における必要な事業であったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により、市民への周知を図った。 ○市ホームページへ掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後、本実施設計を踏まえ、施設の施工に繋げていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	沖縄市立沖縄東中学校空調機能復旧工事実施設計					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市字桃原地内					
補助事業の成果の目標	<p>本施設の空気調和設備は、平成6年度から平成8年度にかけて整備され20年が経過している。</p> <p>老朽化により空気調和設備の機能が著しく低下し、突発的な故障により授業に支障をきたしているため、次年度行う空調設備機器の更新整備のための実施設計書を作成することにより、生徒の正常な教育環境を確保することを目標とする。</p>					
補助事業の内容	実施設計 一式					
補助事業の始期及び終期	平成29年度					
事業費及び交付金額		29年度				計
	事業費	円 7,337,647	円	円	円	円 7,337,647
	交付金額	5,613,000				5,613,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、沖縄東中学校において、空気調和設備機器の整備に向けた設計書を作成することが出来た。また、作成した設計書を基に平成30年度以降、空気調和設備機器の更新工事に着手したことを確認出来たことから、本実施設計が沖縄東中学校の空気調和設備機器の更新工事における必要な事業であったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を以下の方法により、中学校関係者へ周知を図った。</p> <p style="margin-left: 20px;">○学校便りへ記載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	実施設計を基に空気調和設備機器を更新し、生徒の正常な教育環境の確保を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	宮里第一公園整備工事						
補助事業者	沖縄市長						
実施場所	沖縄市宮里地内						
補助事業の成果の目標	本市宮里地区は、市内でも人口が多い地域であるが、地域住民のレクリエーションや交流の場となる公園が少ないことから、公園の整備(用地購入:平成27年度、実施設計:平成28年度、工事:平成29年度(予定))を行い、地域住民のレクリエーションや交流の場として活用できる環境を整備し、生活環境の充実を図る。						
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> •用地購入3筆(1476.31㎡) •実施設計一式 •工事 A=1539.57㎡ 						
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成29年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度			計
	事業費	円 102,378,431	円 9,288,000	円 104,263,200	円	円	円 215,929,631
	交付金額	102,378,000	8,100,000	90,000,000			200,478,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業において新規公園整備を行ったことにより、地域住民のレクリエーションや交流の場として利用できる環境を整えることが出来た。また、利用者へアンケート調査を実施した際には、幼稚園の遠足としての利用が多々確認できたことや、アンケートの設問においても「満足している」との回答が多数寄せられており、地域の活性化や快適な公園利用が出来ていると評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 下記の方法により当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った ①工事前に地域住民へ配布する工事案内へ記載 ②工事看板へ記載 ③ホームページへ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、地域住民の要望や利用状況を踏まえ、安全で快適な公園の維持管理を行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	馬場都市緑地遊具整備工事						
補助事業者	沖縄市長						
実施場所	沖縄市知花地内						
補助事業の成果の目標	<p>現在、馬場都市緑地には遊具施設としてローラーすべり台が設置されているが、整備から15年以上経過しており、老朽化による不具合等の為、現在は使用禁止状態となっているところである。</p> <p>そのことから、今回の事業によりローラーすべり台を撤去し、新たに複合遊具を整備することで、公園利用者が安心・安全に利用出来、地域住民の交流の場となる環境を提供する。</p>						
補助事業の内容	遊具整備工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	50,544,000	円	円	円	円	円
	交付金額	42,500,000					42,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業において老朽化した遊具施設を撤去し、新たに複合遊具の整備を行ったことにより、地域住民の交流促進や子どもたちが安全・安心に遊べる環境を整えることが出来た。また、利用者へアンケート調査を実施した際には、子どもと一緒に来られる高齢者の方も多くみられ、幅広い年齢層の利用が確認できた。アンケートの設問においても「満足している」との回答が多数寄せられており、地域の活性化や安心・安全な公園利用が出来ていると評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 下記の方法により当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った ①工事前に地域住民へ配布する工事案内へ記載 ②工事看板へ記載 ③ホームページへ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、地域住民の要望や利用状況を踏まえ、安全で快適な公園の維持管理を行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	市道美里小学校北側線整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市美里地内						
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路として利用されているが、舗装整備後三十年以上経過し老朽化しており、車両の通行に支障をきたしている。また、排水路が片側しか設置されていない箇所があり、雨水等の排水が不十分であることから、車両と歩行者の安全を確保する為、整備してほしいとの地元要望がある。</p> <p>この事から本道路の舗装及び排水路の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	実施設計 一式 整備工事 L=167.00m、W=4.01～6.28m						
補助事業の始期及び終期	平成20年度から平成29年度						
事業費及び交付金額		20年度	29年度				計
	事業費	9,450,000円	18,824,400円	円	円	円	28,274,400円
	交付金額	8,000,000	16,579,000				24,579,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより舗装及び排水の整備ができ地域住民が本道路を安全に利用できるようになった。 ・地域住民へアンケートを実施しところ、安全性、景観、排水機能の向上及び車両への負担が図られたとの回答が寄せられており、地域住民が安全に利用できるようになったと評価できる。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内・工事看板及び自治会掲示板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、生活及び交通に支障を来す市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	市道泡瀬第三9号線整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市泡瀬地内						
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路として利用されているが、舗装整備後三十年以上経過し老朽化しており、車両の通行に支障をきたしている。また、既存の排水路も排水機能が不十分であることから、車両と歩行者の安全を確保する為、整備してほしいとの地元要望がある。</p> <p>この事から本道路の舗装及び排水路の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	実施設計 一式 整備工事 L=303.35m、W=4.61m～7.99m						
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成29年度						
事業費及び交付金額		26年度	29年度				計
	事業費	80,244,000	40,331,520				120,575,520
	交付金額	72,219,000	37,567,000				109,786,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより舗装及び排水路の整備ができ、地域住民が本道路を安全に利用できるようになった。 ・地域住民へアンケートを実施したところ、安全性及び景観、排水機能の向上が図られたとの回答が寄せられており、地域住民が安全に利用できるようになったと評価できる。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内・工事看板及び自治会の掲示板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後、生活及び交通に支障を来す市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	保安灯設置工事					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市明道外32地区内					
補助事業の成果の目標	<p>当市には、道路に保安灯が設置されていない地区が存在し、夜間の歩行者の安全に支障を来している状況にあるため、関係する地区住民から保安灯の設置要望が市に寄せられている。</p> <p>また、既存の保安灯が老朽化している地区においても、更新にあわせ保安灯をLED化し、維持管理費用の軽減を図って欲しいとの要望が市に寄せられている。</p> <p>このため、保安灯が未設置の地区については、LED化した保安灯を新たに設置し、既存の保安灯が老朽化している地区については、LED化した保安灯に更新することにより歩行者の安全を確保するとともに、保安灯の維持管理費の低減を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保安灯1基あたり電気料金 <li style="padding-left: 20px;">2,352円/年(LED) <li style="padding-left: 20px;">5,040円/年(水銀灯) 					
補助事業の内容	保安灯設置工事 鋼管柱自立型 45基 電柱共架型 542基					
補助事業の始期及び終期	平成29年度					
事業費及び交付金額		29年度				計
	事業費	59,518,800	円	円	円	59,518,800
	交付金額	35,000,000				35,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより夜間の歩行者の安全の確保と維持管理費用の軽減を図ることができた。また、地域住民へアンケートを実施したところ以下の回答を得ており本事業による効果があると評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保安灯が水銀灯からLEDに改修したことにより、自治会の電気料金の負担が軽減された。 ・水銀灯からLEDに替えた事により照度と耐久性が増した。 ・LEDに改修したおかげで明るさがすごい。地域の安全性も高まる。評判が良すぎる。 ・LEDに改修され明るさが増し周辺住民からお礼の言葉があった。 ・保安灯がLEDで明るさが増し歩行の際足元が明るく歩き易くなり転倒、ケガ、つまづきが減ったと安心の声があり高齢者には特に効果があるようです。 <p>保安灯1基あたり電気料金(平成30年4月分単価) 2,076円/年(LED) 5,508円/年(水銀灯)</p> <p>【地域住民への周知について】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を以下の方法により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページに掲載。 ・工事用看板に記載。 ・市広報誌4月号に掲載。 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も保安灯のLED化を早期にすすめる、歩行者の安全確保を図る。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	高原地区学習等供用施設空調改修工事						
補 助 事 業 者 名	沖縄市長						
実 施 場 所	沖縄市高原地内						
補助事業の成果の目標	<p>高原地区学習等供用施設は、昭和58年に設置され、日頃から地域活動や生涯学習等の場として地域住民が活用している施設である。 しかし、空調設備は設置当時から35年経過しており、老朽化により機能が低下している状況である。 このため、本施設の空調改修工事を実施することで、地域住民が快適に利用できる環境を維持する。</p> <p>・平成28年度年間施設利用人数 : 4,453人 ・平成28年度年間施設利用回数 : 457回</p>						
補助事業の内容	空調改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	33,048,000					33,048,000
	交付金額	23,349,000					23,349,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより地域住民が身近に利活用できる施設環境の維持を図ることができた。また、整備後1年間の施設利用人数及び施設利用回数を確認したところ、利用人数が2547人、利用回数が280回となっており28年度より減少しているが、これは30年度に自治会長が変更になったことにより催し事等の減少に伴うものであり、利用者からは以前に比べ快適に利用できるようになったとの声が上がっていることから地域住民が生涯活動等の場として提供出来ていると評価する。</p> <p>【地域住民への周知について】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金で実施した旨を以下の方法により地域住民へ周知を図った。</p> <p>①本自治会の広報誌に掲載 ②工事中の看板に掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	定期的な空調機の点検などを行い、利用者が継続的に利活用できる施設環境の維持を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	市道高原29号線ほか2件整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市高原・松本地内						
補助事業の成果の目標	<p>本道路は、地域住民の生活道路及び児童生徒の通学路として利用されているが、歩道が整備されていないことから地域住民及び学校関係者から歩行者の安全を確保するため、歩道の整備を実施して欲しい旨の要望がある。</p> <p>しかし、歩道整備には用地買収等の問題もあり早急に整備することが困難なことから、道路端部のカラー舗装により明確化することで、地域住民及び近隣学校の児童生徒が安全に利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	カラー舗装整備工事 A=442㎡						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 5,578,200		円	円	円	円 5,578,200
	交付金額	4,800,000					4,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより歩行部分の明確化が出来、児童生徒が安全に利用できる環境が整備出来た。 ・地域住民へアンケートを実施し、安全性の向上が図られたとの回答が寄せられており、本道路が安全に利用できる環境が整備出来たと評価する。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事前に地域住民へ配布する工事案内及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、歩道がない市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						